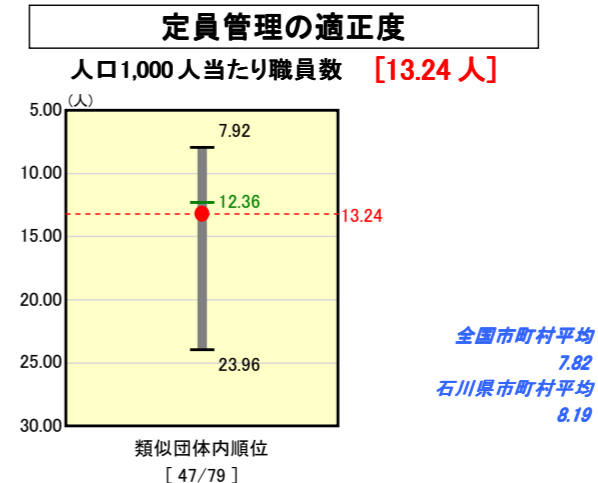
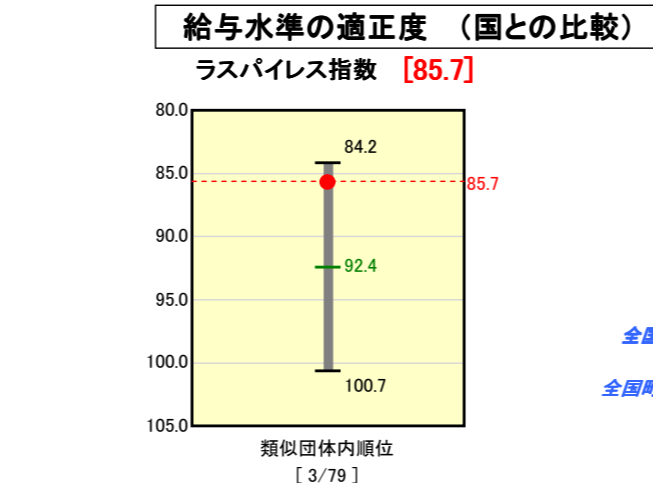
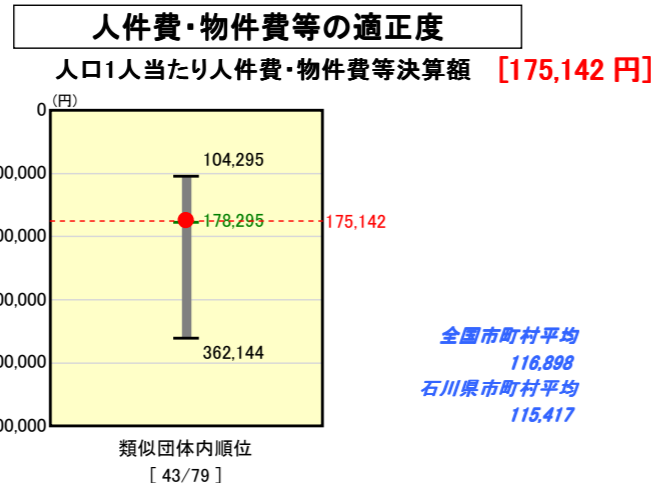
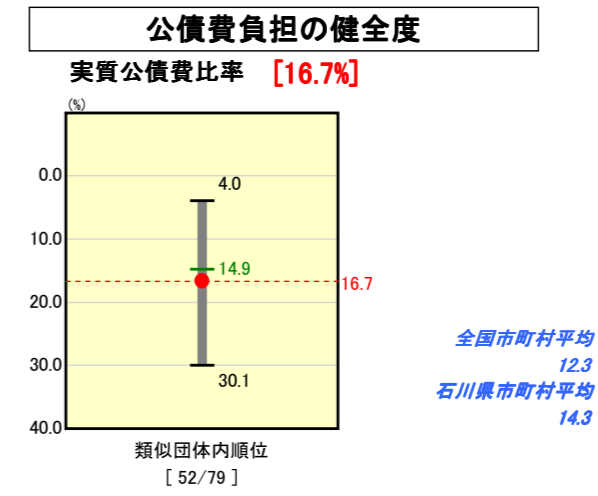
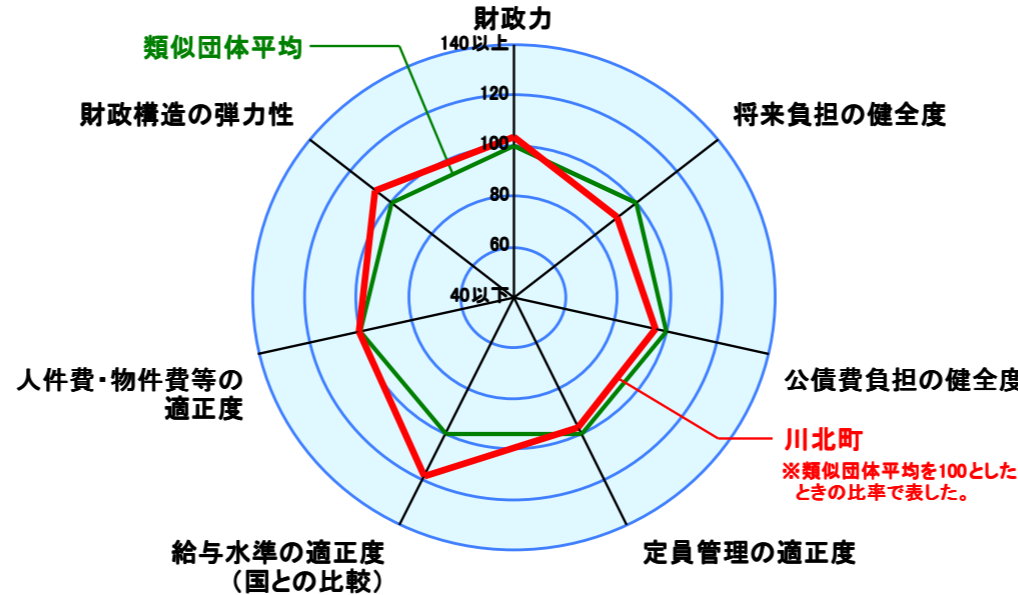
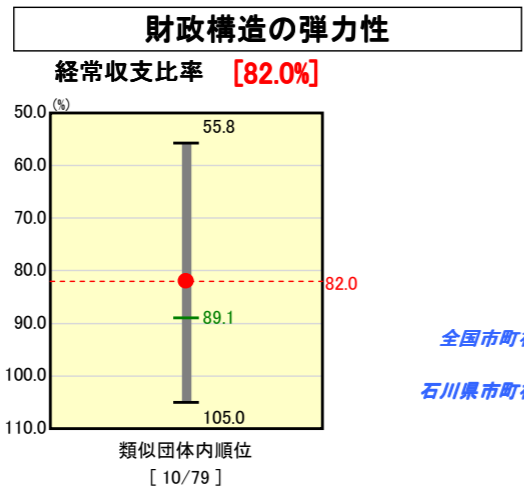
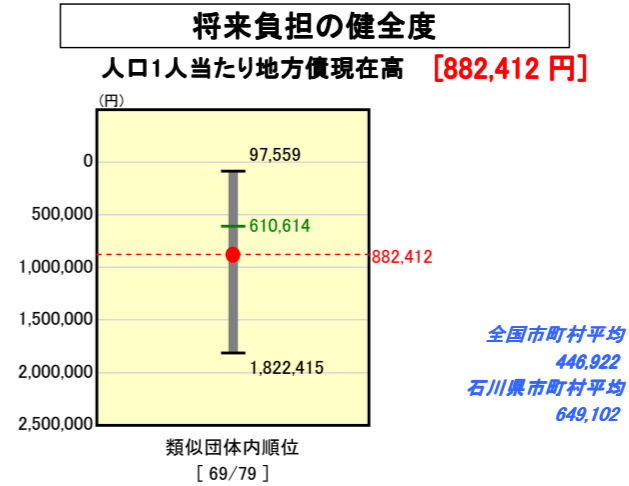
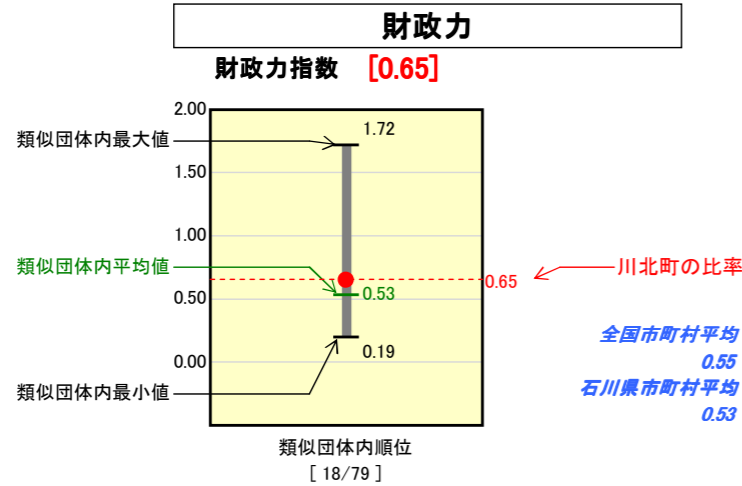


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

石川県 川北町

人口	6,044	人(H20.3.31現在)
面積	14.76	km ²
歳入総額	3,363,860	千円
歳出総額	3,232,966	千円
実質収支	96,355	千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
※平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
※ラスパイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数: 大型企業誘致により、人口規模を上回る税収があるため、類似団体平均値を上回り、0.65となっている。町内企業の大規模な投資がなされており、平成20年度以降は上昇すると考えられる。

経常収支比率: 人口規模を大幅に上回る税収と経常経費の節減により、類似団体でも上位、県内最上位となっている。今後も、行財政改革を引き続き断行し、安定した財政運営にとり組んでいく。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額: 人件費の抑制や経常経費の節減により、類似団体の平均となっている。21年度予算についても経常経費の5%削減など歳出抑制策に取り組んでおり、引き続き行財政改革を押し進めていく。

ラスパイレス指数: 従来からの給与体系と職員平均年齢が他市町村より若いこともあり、類似団体平均、全国平均ともに大幅に下回っている。今後も国の人事院勧告に基づき、適正な給与体系を維持していく。

人口1人当たり地方債現在高: 地方債現在高は、前年度より減少したが、類似団体の平均を上回っている。平成9年度から平成13年度を中心とした大型建設事業の実施により、県内市町村平均を上回っている。今後は最小限の普通建設事業に努め、定期的な繰上償還により、地方債現在高の減少に努めたい。

実質公債費比率: 公営企業に係る元利償還額が少ないこともあるが、平成20年度以降に元利償還金が大幅に増えることもあり、今後は上昇することが予想される。このため、新規発行の抑制や定期的な繰上償還により、実質公債費比率の伸びの抑制を図りたい。

人口1,000人当たり職員数: 近年保育所児童が大幅に増加しており、十分な保育に必要な保育士の数も増えているが、新規職員を採用せず臨時で対応している。今後も平成17年から22年までに職員数を6.7%削減するとして町の集中改革プランの実現に向けて、適正な職員数に努めていきたい。